

第25回 西アジア発掘調査報告会 プログラム

※発表者が複数の場合も1名(団長、会員等)のみが記載されています。また、当日発表する方とは一致しない場合もあります。

発表順などは変更されることがあります。日本西アジア考古学会 検索
最新情報はウェブページでご確認ください。 http://jswaa.org

2018年3月24日(土)	2018年3月25日(日)
<p>10:00-10:30 開場・受付 10:30-10:40 開会の辞</p>	<p>10:00-10:30 開場・受付</p>
<p>クルディスタンの調査</p>	<p>アラビア半島の調査</p>
<p>10:40-11:05 報告① 肥沃な三日月地帯東部の新石器化 —イラク・クルディスタン、スレマニ地域チャルモ遺跡・トゥルカカ遺跡の調査(2017年)— 筑波大学人文社会系教授 常木 晃</p>	<p>10:30-10:55 報告⑮ 古代ディルムン王国の起源を求めて —バハレーン、ワーディー・アッ=サイル考古学プロジェクト2017— 東京文化財研究所研究員 安倍 雅史</p>
<p>11:05-11:30 報告② 新石器化と都市化のはざま —イラク・クルディスタン、シャイフ・マリフ遺跡の予備調査(2012~17年)— 東京大学総合研究博物館特任助教 小高 敬寛</p>	<p>10:55-11:20 報告⑯ アル・カーンの発掘 2017年 —アラビア半島の近世漁村— 金沢大学名誉教授 佐々木 達夫</p>
<p>11:30-11:55 報告③ アッシリア帝国東部境界を掘る —イラク・クルディスタン、ヤシン・テペ考古学プロジェクト:第2次(2017年)— 中部大学人文学部准教授 西山 伸一</p>	<p>11:20-11:45 報告⑰ バハレーンで古墳を掘る —バハレーン、マカバ古墳群第1号墳第一次調査2016-2017— 奈良県立橿原考古学研究所技術アドバイザー 西藤 清秀</p>
<p>11:55-13:00 昼食休憩</p>	<p>11:45-13:00 昼食休憩</p>
<p>コーカサスとアナトリアの調査</p>	<p>13:00-13:25 報告⑱ サウジアラビア紅海沿岸第1次踏査(2017) —ハウラー遺跡とその後背地— 早稲田大学総合研究機構客員教授 長谷川 奏</p>
<p>13:00-13:25 報告④ 南コーカサス地方の新石器時代 —第10次発掘調査(2017年)— 東京大学教授 西秋 良宏</p>	<p>13:25-13:50 報告⑲ 王朝成立直前の専門化の発展 —エジプト、ヒエラコンポリス遺跡HK11C地区の発掘調査— 早稲田大学高等研究所准教授 馬場 匡浩</p>
<p>13:25-13:50 報告⑤ 初期定住集落の姿を探る —トルコ、ハッサンケイフ・ホユック遺跡第5次調査(2017年)— 筑波大学人文社会系教授 三宅 裕</p>	<p>13:50-14:15 報告⑳ ギザのピラミッドにおける3次元計測調査 —エジプト、クフ王の大ピラミッド頂上部のUAV-SFM調査(2016-17年度)— 名古屋大学共同研究員 河江 肖剩</p>
<p>13:50-14:15 報告⑥ アルメニアにおける先史文化の系譜を探る —アルマヴィル地域における発掘調査(2017年)— 東海大学文学部歴史学科考古学専攻准教授 有村 誠</p>	<p>14:15-14:40 報告㉑ 紀元前2千年紀エジプトの葬制の変遷を探る —ダハシュール北遺跡第24次調査(2017)— 東日本国際大学エジプト考古学研究所客員准教授 矢澤 健</p>
<p>14:15-14:40 報告⑦ 中央アナトリアにおける銅石器時代解明へ向けて —キュルテベ遺跡北トレンチ発掘調査2017年— ノートルダム清心女子大学教授 紺谷 亮一</p>	<p>14:40-14:50 休憩</p>
<p>14:40-14:50 休憩</p>	<p>14:40-14:50 休憩</p>
<p>レヴァントの調査</p>	<p>14:50-15:15 報告㉒ エジプト、サッカー遺跡の新王国時代の墓地を探る —北サッカー遺跡第3次調査(2017)概報— 金沢大学新学術創成研究機構准教授 河合 望</p>
<p>14:50-15:15 報告⑧ ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態 —南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査(2017年)— 名古屋大学博物館講師 門脇 誠二</p>	<p>15:15-15:40 報告㉓ アル=コーカ地区出土の葬送用コーン —エジプト、アル=コーカ地区第10次調査(2016-17)— ※チラシで副題が間違っていました。訂正してお詫びいたします。 早稲田大学文学学術院・早稲田大学エジプト学研究所教授 近藤 二郎</p>
<p>15:15-15:40 報告⑨ レヴァント回廊の歴史を探る —レバノン、ベカー高原南部考古学踏査プロジェクト:第3次(2017年)— 中部大学人文学部准教授 西山 伸一</p>	<p>15:40-16:05 報告㉔ エジプト西方デルタ・イドゥック湖南域の考古学調査(2017) —コム・アル=ディバーウ遺跡北丘陵の探査— 早稲田大学総合研究機構客員教授 長谷川 奏</p>
<p>15:40-16:05 報告⑩ ガリラヤ最初期のシナゴグを掘る —イスラエル国テル・レヘシュ第11次発掘調査(2017年)— 天理大学文学部教授 桑原 久男</p>	<p>16:05 閉会の辞・閉会</p>
<p>16:05-16:30 報告⑪ パレスチナにおける十字軍期の農業集落 —パレスチナ自治区ベイティン遺跡第6次考古学的調査(2017年度)— 慶應義塾大学文学部教授 杉本 智俊</p>	<p>ポスター展示 (3/24-25) ※口頭発表はありません。報告集(資料)には掲載されます。</p>
<p>16:30-16:40 休憩</p>	<p>ポスター① ヨルダン南部ジャフル盆地の遊牧化 —ハラアト・ジュハイラ遺跡群の第3~4次発掘調査(2017年)— 金沢大学歴史言語文化学系教授 藤井 純夫</p>
<p>中央アジアの調査</p>	<p>ポスター② アラビア半島の遊牧化 —ワディ・ムハラック、ワディ・グハイ遺跡群の第1,2次発掘調査(2017年)— 金沢大学歴史言語文化学系教授 藤井 純夫</p>
<p>16:40-17:05 報告⑫ 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 —第5次ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2017年)— 東京大学教授 西秋 良宏</p>	<p>懇親会について 3/24(土)18:30~20:30 事前申込、事前振込をお願いいたします。</p>
<p>17:05-17:30 報告⑬ ウズベキスタン、カフィル・カラ遺跡のシタデルを覆う火災層 —日本・ウズベキスタン調査隊の発掘調査(2017年)— 京都大学文学研究科博士後期課程 ベグマトフ・アリシエル</p>	<p>会場: 池袋サンシャインシティ アルパ3階 アジオ(AGIO) (専門店街アルパは報告会会場の文化会館ビルとB1・1Fで連絡しています。)</p>
<p>17:30-17:55 報告⑭ 中央アジア、シルクロード拠点都市の成立とその展開 —キルギス共和国、アク・ベシム(スイヤブ)遺跡の調査(2017年度)— 帝京大学文化財研究所教授 山内 和也</p>	<p>申込先: e-mail: konshinkai@orientmuseum.com または Fax: 03-3590-3266 「3/24懇親会参加」と明記し、お名前をお知らせください。申込締切: 3/22(木)</p>
<p>17:55 1日目終了</p>	<p>会費: 5,000円(学生4,000円)。事前にお振込ください。振込期限: 3/22(木) 3/23以降の振込、または当日支払いは上記金額プラス1,000円となります。</p>
<p>18:30-20:30 懇親会 どなたでも参加できます。 事前申込、事前振込制です。申込・振込締切: 3/22(木)。 詳しくは右欄「懇親会について」をご覧ください。</p>	<p>振込先: みずほ銀行 池袋支店(店番号230) 普通 2197205 西アジア発掘調査報告会(ニシアジアハツクツチヨウサホウコクカイ) 振込人名は申込者の名前をご記入ください。振込手数料はご負担いただきますようお願い申し上げます。欠席の場合、懇親会費の返金はできません。</p>

お問い合わせ

※報告会の内容について: 日本西アジア考古学会 E-mail: office@jswaa.org または Fax: 029-853-4432
※会場アクセスについて: 古代オリエント博物館 Tel: 03-3989-3491